

18 2026年度末までの「全職員のITパスポートの取得」をアクションプランに明記【島根県江津市】



事業効果



- 「全職員のITパスポートの取得」の目標をスマートシティ推進構想アクションプランに明記
- 受験費用を市の負担とするとともに、庁内で職員を講師とした自主的な学習会を開催
- スマートシティ江津推進構想アクションプランに人材育成の目標として「ITパスポート試験の全職員取得」を明記したことで、機運醸成につながっており、今後、職員のデジタルリテラシーやICTスキルの向上に寄与するものとなっている。
- 庁内での学習会の開催が職員のモチベーションを維持・向上につながっている。

事業の概要

- DX推進をするうえで、システムやツールの導入をするだけでなく自治体職員のデジタルリテラシーやICTスキルの向上が必要であることから、「デジタル人材」の育成を強化するべく、「全職員のITパスポートの取得」を目標として、スマートシティ推進構想アクションプランに明記。
- 受験費用を市の負担とするとともに、庁内で職員を講師とした自主的な学習会を開催することで、試験取得の機運を全体に波及。

<スマートシティ江津推進構想が掲げる3つの改革>

第6次行財政改革（令和4年度～令和8年度）

①市民サービスの改革

自治体DXの推進に合わせた各種事業の仕組みの見直し

②業務プロセスの改革

持続可能なまちを運営するDX人材の育成と組織体制の構築

③人と組織の改革

BPRとデジタル化による業務プロセスや職場、働き方の改革

<スマートシティ江津推進構想アクションプラン【第1.1版】（抜粋）>

③人と組織の改革に関すること

No.	テーマ	具体的な取組み等	備考
①	働き方改革	テレワークの導入	システムと制度の構築
		民間人材の活用	
②	人材育成	職員研修度の確立	(例) 全職員のITパスポートの取得
		課題の整理・解決能力の向上	RPAシナリオ作成方法とAI-OCRの設定方法の習得による課題の整理・解決能力の向上を図る
③	組織の在り方検討	スマートシティの実現	基盤となる組織体制の確立

18 2026年度末までの「全職員のITパスポートの取得」をアクションプランに明記【島根県江津市】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

本市のDX推進をするうえで、システムやツールの導入をするだけでなく自治体職員のデジタルリテラシーやICTスキルの向上が求められるため、人材育成が急務となりました。

そこで、江津市役所内の「デジタル人材」の育成を強化するため、**ITパスポート試験の全職員取得を人材育成の目標**とすることを、**スマートシティ江津推進構想アクションプランに盛り込む**こととなりました。



(江津市)

**苦労した点を教えてください。**

全員取得を目標として計画しましたが、実際に各職員に受験をしてもらえるような仕組みづくりに苦労しました。

まず、受験費用を市の負担とする仕組みを整えました。さらに、**庁内で学習会を開催し、その学習会を職員のモチベーション維持と悩みを解決する場**とすることで、試験の取得をサポートする体制を作りました。

また、モチベーションの高い職員にまず取得をもらい、**合格者数を都度周知することで、全体への波及効果を狙っています。**

**補助金のほか、活用している国等の支援制度がありましたら教えてください。**

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が、地方公共団体向けに配信しているeラーニングを活用しています。

**今後の展望を教えてください。**

2026年度末までに全職員が「ITパスポート」取得としていますが、令和6年3月時点での合格者数は、20名程度のため、受験者を増やす必要があります。

庁内研修の充実化と、こまめな情報発信により、庁内のさらなる機運醸成を図ることや、合格した職員が講師となって、合格を目指す職員の指導ができるような体制をつくることを検討しています。



【参考情報】 島根県江津市人口：2.2万人（令和5年1月1日現在）

関連URL：スマートシティ江津推進構想（第6次江津市行財政改革）（<https://www.city.gotsu.lg.jp/soshiki/2/25317.html>）
スマートシティ江津推進構想アクションプラン【第1.1版】（<https://www.city.gotsu.lg.jp/soshiki/2/27731.html>）

【担当部署】 島根県江津町政策企画課（電話：0855-52-7928、メール：jyohotokei@city.gotsu.lg.jp）